

奥能登原木しいたけ

「のとてまり」・「のと115」だより

<発行者> 奥能登原木しいたけ活性化協議会、石川県奥能登農林総合事務所 森林部

ビニールハウス搬入(ほだ起こし)について

- ・立冬を過ぎたころから気温が下がり、また11月中旬にまとまった雨が降ったことから芽切りが始まっています。
- ・11月末から12月初めにかけてハウス搬入(ほだ起こし)を行ってください。
- ・搬入直後は散水の必要はありません。きのこやほだ木が乾燥してきたら濡れる程度の散水を行います。散水用ポンプを利用しても良いです。
- ・まだ日中の気温が高いため、生しいたけを出荷する際には虫による食害がないか充分確認してください。特に昨年秋、今年の春被害のあったところでは要注意です。



(芽が小さいうちに虫が侵入している)



(虫害を受けたしいたけ)

品質の良いしいたけを作るために

- ・ハウスは両サイド、入口を開放し、最高気温が13℃以下になるよう調節します。温度が高いと柄が長くなったり、傘が開いて丸みがなくなったりして形のよいものできません。
- ・遮光ネットは気温の上昇を抑えるために天面、両サイドに設置しますが、ハウスの立地条件により調節します。たとえば東西に杉林等があって温度が上がらない場合は、ハウス内温度を確認しながら日差しを入れてください。
- ・低い気温が続くようになったら袋をかけます。特に傘が大きくなってほだ木に触れると黒ずみができ「のとてまり」に格付けされなくなるので注意してください。



芽の大きさが3cm程度になったら袋をかける



袋の角から露が落ちるようにふんわりと袋をかける



悪い例: 結露した水分が傘について雨子になる (裏面に続く)

共選開始日について

今年度の原木生しいたけ共選事業の開始日は、下記のとおり予定しています。

- ・「のと115」 12月11日(水) (全農いしかわ穴水共選場)
- ・「のとてまり」 12月19日(木) (全農いしかわ穴水共選場)

※以降の日程・会場については、決まり次第JAを通じてお知らせします。

原木生しいたけの市況(速報・金沢中央卸売市場)

今秋は、昨年よりも4日早い10月21日から原木生しいたけ(菌興115以外の品種を含む)の出荷が始まっています。10月下旬からの約1ヶ月間の出荷量は、昨年の約1/3となっています。平成28・29年は、10月の出荷はありません。

	令和元年度 (10/21~11/18)	平成30年度 (10/25~11/18)
出荷量	120.4kg	335.5kg
市場価格	957円/kg	1,382円/kg
最高価格	6,000円/kg	3,760円/kg
最低価格	187.3円/kg	380円/kg

「大嘗宮の儀」に能登原木乾シイタケが供えられました

皇位継承の重要祭祀「大嘗祭(だいじょうさい)※」の中心儀式「大嘗宮の儀(だいじょうぐうのぎ)」が11月14、15日に皇居で行われました。

奥能登原木しいたけ活性化協議会では、平成30年度産の「能登原木乾シイタケ」を11月5日に宮内庁へ届け、全国各地の農林水産物とともに「庭積机代物(にわづみのつくえしろもの)」として儀式に供えられました。

石川県内からは、能登原木乾シイタケのほか、加賀棒茶、紋平柿、能登金糸瓜、輪島海女採リアワビの5品目が提供されました。



宮内庁へ届けた
「能登原木乾シイタケ」

※ 大嘗祭は、新天皇が即位後初めて執り行う「新嘗祭」のことで、国の安寧や五穀豊穰を祈る祭祀。

・全農いしかわ穴水事務所(脊戸)

Tel 0768-52-1240

※現在普及を図っている散水用ポンプについては、各JA支店までお問い合わせください。

・日本きのこセンター北陸駐在(平野、梶川)

Tel 076-223-2956

・石川県奥能登農林総合事務所 森林部(森川、山口)

Tel 0768-26-2329

・石川県農林総合研究センター能登駐在(八島)

Tel 0768-67-2104